

「森林再生基金」(FRONT80) 第 6 回助成案件の決定について (お知らせ)

1 概 要

- (1) 当金庫は、国内の荒廃した民有林の再生により、地球温暖化防止などの森林の多面的機能が持続的に発揮されることを目的として、平成 17 年 3 月、創立 80 周年を機に 10 億円規模の「公益信託 農林中金 80 周年森林再生基金」(FRONT80)を設定し、森林の再生と保護(保全)を通じた社会貢献事業の取組みを行っております。
- (2) 本取組みは、民有林を再生する事業・活動に対し 1 年当たり 1 億円程度の助成を行うもので、信託財産 10 億円を設定し 10 年にわたって実施していきます。
(別紙 1「FRONT80 の概要」、別紙 2「スキーム図」をご参照ください。)
- (3) これまでの 5 か年で 22 事業体に総額 421 百万円の助成を行ってまいりました。
- (4) 6 年度目の今回は、森林組合・同連合会 19 件、NPO 法人等 5 件、合計 24 件の応募があり、公益性、創造性等の観点から審査の結果、6 事業、合計 116 百万円の助成を決定しました(下記 2)。なお、事業協同組合の選定は初めてです。
- (5) 今回は、①境界調査、資源量調査を行い、そのデータを GIS でデジタル管理し、森林整備に結び付け、地域森林の持続的利用モデルの構築を目指す、②地域住民から信頼されている NPO 法人が、森林整備のモデル林を設置し、地域住民による共有林管理体制を構築する、③森林ゾーニングによる多様な森林づくりと C 材搬出を含めた各段階のコスト検証を行う、④路網整備が著しく遅れている有名林業地において、「壊れない道づくり」を地域に普及させ、地域林業の活性化を目指す、⑤森林組合がない地域において、連合会が自ら集約化施策を行い、実践ノウハウを蓄積し、本来果たすべき森林組合への指導機能の強化を図る、⑥激甚な台風被害を受けた地域において、私有林と公有林とを一体として集約化し、台風に強いふるさとの森の再生を図ろうとする取組みなど、地域林業のもつ緊急な課題に対応して意欲的に森林・林業の再生を目指していることが特徴となっております。

(ご参考)

これまでに、第 1～5 回の助成事業として 22 件の決定を行いました。当金庫では、「フォローアップ事業」として、助成先の事業実施に際し森林生態学や森林施策、森林情報管理等の専門家を派遣し、事業完成に向けたサポートを併せて実施しています。

また、例年、助成先による事業成果の発表会を開催していますが、本年も、第 5 回助成先(5 件)による発表会を開催する予定(7 月頃)としております。

2 助成決定案件の概要等

助 成 対 象 先	事 業 の 概 要 と 評 価 の ポ イ ン ト
きたしんしゅう 北信州森林組合 (長野県) 対象地面積 388ha	事業名： デジタル森林管理 ～森林経営の再生を目指して～ 当地域は、リゾート開発・構想があったものの、その後の撤退により、整備が放棄された荒廃森林が多く存在し、また、境界不明の集落林も多く、交通の便の良さもあり、ごみの不法投棄等の新たな問題も発生している。 当事業では、放棄された森林を、もう一度、地域の管理下に取り戻すため、境界明確化、資源量調査を実施し、そこで得られたデータを GIS でデジタル管理し、森林整備（ハード）事業に結びつけることで、地域森林の持続的利用モデルの構築を目指すという取組みが評価された。
そまのもりがくしゃ NPO 法人杣の杜 学舎 (岐阜県) 対象地面積 20ha	事業名： 美濃市ふくべの森入会林野再生モデル事業 当地域は、美濃市片知地区の水源の源流部に位置し、官行造林地として管理されてきた森林である。分収契約期限の到来を機に、皆伐を回避するため地域住民が立木を買い取ったものの、地元には森林管理の知識と技術を持った人材が減り、共有林管理の再構築が課題となっている。 当事業では、既に切捨て間伐等を行い、地域住民から信頼を得ている NPO 法人が指導的役割を務め、地域住民とともに森林整備のモデル林を設置し、地域住民による共有林管理体制の再構築を目指すという取組みが評価された。
ちゅうせい 中勢森林組合 (三重県) 対象地面積 158ha	事業名： 森林ゾーニングによる多様で健全な森林づくり事業 当地域の森林は、全国的にも珍しい谷から尾根にかけた狭い帯状の所有界、かつ植栽も同時期で、境界明確化に多大の費用と労力を要することから、森林整備がされずに放置され、多面的機能が失われつつある。 当事業では、対象地をオオサンショウウオ等の貴重動植物の保全にも配慮したゾーニングを行い、境界調査、林況調査結果に基づき、人工林については路網整備、高性能林業機械の活用による低コスト化に努め、C材搬出を含めた各段階のコスト検証を行うという取組みが評価された。
よしの 吉野林業協同組合 (奈良県) 対象地面積 100ha	事業名： 川上村下多古峰の平 作業道作成工事及び周辺間伐事業 当地域は、古くからの林業地で、優良材を生産し、高い材価により高コストのヘリ集材費用を賄うことができたことから、急峻な地形ということも相まって、他地域に比べ路網整備への関心が低く、その整備が著しく遅れている。 当事業では、これまで一部組合員が実践していた「壊れない作業道づくり」の技術を吉野地域の林業家で共有することで、現場までの通勤時間を含めた労働強度の軽減、利用間伐等の低コスト化を図り、長伐期施業を旨とした適正な森林整備を行い、地域経済の発展、若き林業労働者の確保を目指すという取組みが評価された。
くまもとけん 熊本県森林組合連合会 (熊本県) 対象地面積 178ha	事業名： 熊本市西部域民有林の森林境界明確化と荒廃森林の保全対策 当地域は、熊本市の民有林が集中しているが、森林組合が解散し、民有林に対する森林整備等の働きかけが全く行われず、補助制度の活用も行われなかったこと、森林所有面積も大半が0.3ha以下と極めて零細であることなどから、手入れ不足による荒廃森林の割合が高くなっている。 当事業では、連合会が自ら集約化を行い、境界の明確化、作業道の整備、利用間伐等の集約化施業を実践し、当地域の森林整備を推進することに加え、集約化施業の実践ノウハウを蓄積し、連合会として本来果たすべき森林組合への指導機能の強化を図ろうとするという取組みが評価された。

そおちく 曾於地区森林組合 (鹿児島県) 対象地面積 8 1 ha	事業名： ふるさとの森再生事業 ～台風被害からの復活～ 当地域は、志布志湾沿いに位置する台風被害を受けやすい地域である。未だに、平成5年の激甚な台風被害を受けた後遺症が残り、本事業地の林分では、台風によるキズなどで一般用材の割合が低く、材価が安いことなどから、森林所有者の森林離れが進み、荒廃林分が増加している。 当事業では、私有林と公有林とを一体として集約化し、私有林について森林現況に対応した施業方法を検討した上で、人工林については、路網整備を行い、高性能林業機械を活用した効率的な施業を行い、森林所有者の意識を高め、台風に強いふるさとの森の再生を図ろうとする取組みが評価された。
---	---

3 今後のスケジュール（予定）

平成23年4月	第6回助成決定案件の事業スタート
平成23年5月	第7回助成案件の募集開始
平成23年7月	第7回助成案件の募集終了
平成24年2月	第7回助成対象先決定
平成24年4月	第6回助成対象先の完了事業の実査
平成24年5月	第6回助成対象先への助成金交付



平成28年5月	第10回助成決定先への助成金交付
---------	------------------

4 助成決定案件の内容や次回募集についての問合せ先

全国森林組合連合会 林政・組織部 TEL 03-3294-9717
 〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-1-12 コープビル 8F

農中信託銀行(株) 営業第一部 TEL 03-5281-1340
 〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-1-12 コープビル 1F

農林中央金庫 農林水産環境統括部 TEL 03-5220-9554
 〒100-8420 東京都千代田区有楽町 1-13-2 DN タワー21(9F)

以上

(本件プレスリリースにかかる照会先)
 農林中央金庫 広報部 (岡元, 長谷川)
 TEL 03-5222-2017

農林中金 80 周年森林再生基金(FRONT80)の概要

- 1 名 称 : 公益信託 農林中金 80 周年森林再生基金
- 2 区 分 : 特定公益信託
- 3 委託信託銀行 : 農中信託銀行株式会社
- 4 目 的 : 国内の荒廃した民有林の再生により森林の公益性を発揮させることを目指した活動に対して助成し、もって森林の多面的機能が持続的に発揮されることを目的とする。
- 5 助成対象事業 : 国内の荒廃した民有林の公益性を発揮させることを目的とした活動であって、地域の森林に対する長期ビジョンをもった活動で、かつ費用対効果に十分配慮した創造性が高いと認められる以下の事業。
 - ・ 複数の森林所有者との長期安定的な契約に基づく、ひとまとまりとなった荒廃林の再生活動（多面的機能の向上を目指した利用間伐・切捨て間伐、被害森林の整理伐・更新、天然更新のための択伐等の施業を条件とする。）
 - ・ 上記に附帯する林地境界確定、林地調査、不在村者調査等
 - ・ その他目的を達成するために必要な事業
- 6 助成対象者 : 営利を目的としない法人で、過去の活動歴等からみて本活動を運営するに十分な能力、知見を有する団体(ただし、地方公共団体を除く。)。
- 7 選考方法 : 運営委員会における当基金の趣旨、目的に照らした活動内容・活動効果の大小等についての総合的な審査を経て選定する。
- 8 信託財産等
 - (1) 当初信託財産 : 1,000 百万円
 - (2) 信託財産取崩しにより、年間 100 百万円を目処に助成(単年度助成で一団体あたり上限金額は 30 百万円、複数年助成を希望する場合は毎年度申請し審査を経る。)
 - (3) 予定信託期間は 10 年程度

以上

農林中金 80 周年森林再生基金（FRONT80）のスキーム図

